

業学一如の教え

～加茂暁星学園 総合案内資料～

令和 7 年 5 月

学校法人 加茂暁星学園

— 目 次 —

I	建学の精神	1
II	学園の使命	1
III	学園の沿革	1
IV	役員の概要	3
V	設置する学校・学部・学科等	3
VI	学園の教育目標	4
VII	加茂暁星ルネサンス計画（総論）	4
VIII	学園組織の概要	9
IX	学園の諸規程	11
X	関連法令	11
XI	基本統計	12

I 建学の精神

業学一如

「学は業のためにあり、業また学でなければなら
ないのである」(創設者 にしむらだいかん 西村大串)

【業学一如：ぎょうがくいちによ】

本学園の創設者、西村大串は大正9年9月(1920年)、加茂朝学校を設立。その説明会において「学は業のためにあり、業また学でなければならぬのである。この朝学校なるものは、普通の学校とはその趣を異にして一心に只だ身を学問にゆだねる事のできない人たちが只だわすかなる朝の時間に読書修養を志すのである。未だ惰眠を貪っている鶏鳴四時をつぐる時、厳冬丈なす雪ふみわけて登校することは勿論困難なことには相違ない。朝学校は自ら真を求める人々の人格の修養場である。」と語り経済的、時間的に余裕のない若者に学びの機会を与えました。

II 学園の使命

「実践的教育」と「地域に根ざした研究・地域貢献活動」を通じ、「地域の発展に貢献する人材」を育成する。

III 学園の沿革

大正9年9月10日	加茂朝学校を曹洞宗大昌寺内に設立。初代校長西村大串
大正15年10月4日	新潟県知事より各種学校の指定を受け、これまで早朝のみであった授業を、さらに夜間午後6時から9時まで行い、全校生徒本堂に宿泊、翌朝4時起床6時まで授業を行い、その後各自の勤務に従事する。全校生徒100名
昭和12年4月28日	文部省令第11条による専門学校入学者無試験検定指定校となり、中学校として認可
〃	財団法人大昌寺教学財団が設立認可され、経営を移管
昭和18年4月1日	新中等学校令の公布により、中等学校修業年限が短縮され、校名を加茂朝学校より加茂朝中学校と改称
昭和23年4月1日	加茂朝中学校を加茂高等学校と改称
昭和24年1月6日	新制高等学校として認可され定時制課程普通科を設置。新潟県教育委員会の校名変更の指示により、校名を加茂暁星高等学校と改称
昭和26年4月1日	私立学校法の施行により財団法人を学校法人に組織変更
昭和33年4月1日	全日制課程商業科を設置(入学定員150名 総定員450名)
昭和37年4月1日	全日制課程普通科を設置(入学定員100名 総定員300名)
昭和39年6月10日	加茂市大字上条3314番地に新校舎を建築し、大昌寺内の旧校舎より全校移転
昭和42年4月1日	全日制課程衛生看護科を設置、入学定員40名(総定員120名)
昭和43年4月1日	暁星商業短期大学を設置、初代学長金田綱雄就任。(入学定員商業科1部150名、2部80名 総定員460名)
昭和44年3月31日	加茂暁星高等学校定時制課程廃止
昭和56年4月1日	暁星商業短期大学を加茂暁星短期大学に校名変更

〃	加茂暁星短期大学に幼児教育科を設置（入学定員 50 名 総定員 100 名）
〃	加茂暁星短期大学商業科 1 部入学定員 150 人を 100 人に、商業科 2 部入学定員 80 人を 50 人に変更
〃	加茂暁星短期大学幼児科を児童福祉法施行令（昭和 23 年政令第 74 号）第 13 条第 1 項第 1 号の規定により、保母を養成する学校として指定
昭和 61 年 4 月 1 日	加茂暁星短期大学を新潟中央短期大学に校名を変更し、商業科 1 部を商学科に学科名を変更
昭和 62 年 4 月 1 日	新潟中央短期大学商学科 2 部を廃止し、商学科 1 部を商学科に変更
昭和 62 年 4 月 1 日	加茂暁星高等学校に情報処理科を設置（入学定員 50 名 総定員 150 名）
平成 2 年 4 月 1 日	加茂暁星高等学校に社会福祉科を設置
平成 2 年 12 月 21 日	文部大臣より商学科の期間を付した入学定員 50 人増認可（入学定員 150 人）
平成 4 年 4 月 1 日	新潟中央福祉専門学校介護福祉科設置 入学定員 30 名（総定員 60 名）
平成 6 年 4 月 1 日	新潟経営大学経営情報学部経営情報学科設置 入学定員 190 人、3 年次編入学定員 20 人（総定員 800 人）
平成 17 年 4 月 1 日	新潟経営大学経営情報学部競技スポーツマネジメント学科設置（入学定員 40 人総定員 160 人）
〃	新潟経営大学経営情報学部経営情報学科入学定員 150 人（総定員 640 人）に変更
〃	加茂暁星高等学校商業科を I T コミュニケーション科に科名変更
平成 19 年 4 月 1 日	加茂暁星高等学校 I T コミュニケーション科募集停止
〃	加茂暁星高等学校普通科入学定員 240 人を 280 人に変更
〃	新潟中央短期大学幼児教育科入学定員 50 人を 80 人に変更
平成 20 年 4 月 1 日	新潟中央福祉専門学校介護福祉科募集停止
〃	加茂暁星高等学校普通科入学定員 280 人を 240 人に変更
平成 22 年 4 月 1 日	新潟経営大学経営情報学部競技スポーツマネジメント学科をスポーツマネジメント学科に科名変更
〃	新潟経営大学経営情報学部経営情報学科入学定員 150 人を 140 人に変更
〃	新潟経営大学経営情報学部スポーツマネジメント学科入学定員 40 人を 50 人に変更
平成 23 年 4 月 1 日	加茂暁星高等学校普通科入学定員 240 人を 200 人に変更
平成 26 年 4 月 1 日	新潟経営大学経営情報学部経営情報学科 3 年次編入学定員 20 人を 15 人に変更
〃	新潟経営大学経営情報学部スポーツマネジメント学科 3 年次編入学定員 5 人に変更
〃	加茂暁星高等学校普通科入学定員 200 人を 160 人に変更
〃	加茂暁星高等学校衛生看護科入学定員 40 人を 80 人に変更
平成 28 年 4 月 1 日	新潟経営大学観光経営学部観光経営学科設置（入学定員 60 人、総定員 240 人）
〃	新潟経営大学経営情報学部経営情報学科入学定員 140 人を 120 人に変更
〃	新潟中央短期大学を新潟経営大学敷地内に新築移転
〃	新潟中央短期大学幼児教育科入学定員 80 人を 100 人に変更
〃	加茂暁星高等学校衛生看護科を看護科に科名変更
令和 2 年 4 月 1 日	新潟経営大学観光経営学部観光経営学科募集停止
令和 5 年 4 月 1 日	新潟中央短期大学幼児教育科入学定員 100 人を 75 人に変更

Ⅳ 役員の概要

(令和7年5月1日現在)

役 職	氏 名	学園内役職等
理事長	杉浦 善次郎	新潟経営大学 学長
副理事長	阿部 松雄	非常勤
常務理事	高橋 豊	加茂暁星学園 法人事務局長
理 事	草間 俊之	新潟中央短期大学 学長
理 事	仲野 孝	加茂暁星高等学校 校長
理 事	杉山 学	新潟経営大学 副学長
理 事	大澤 弘幸	新潟経営大学 経営情報学部長
理 事	梅田 茂	非常勤
理 事	笠原 義宗	非常勤
理 事	佐藤 卓之	新潟経営大学 地域連携課
理 事	村木 薫	新潟中央短期大学 特任教授
理 事	丸山 健	加茂暁星学園 理事長室長
監 事	松崎 孝史	非常勤
監 事	石本 勝見	非常勤

Ⅴ 設置する学校・学部・学科等

1 新潟経営大学

経営情報学部 経営情報学科 スポーツマネジメント学科

2 新潟中央短期大学

幼児教育科

3 加茂暁星高等学校

普通科 看護科・看護専攻科

Ⅵ 学園の教育目標

中期目標

加茂朝学校開学から100年、これからの100年を拓く高大一体教育をめざす

【教育・研究における重点項目】

- 加茂暁星高校、新潟中央短期大学、新潟経営大学の教育・研究の特色を踏まえ、一貫性・一体性のある教育に取り組む
- 学生・生徒が「大切にされている実感」、「成長した実感」を感じる面倒見の良い学校をめざす
- AI、技術革新といった時代の流れに適応した教育の促進と社会人として大切な徳育の重視

【地域貢献における重点項目】

- 私立ならではの柔軟で独自性のある取組で学生・生徒が地域に出て学び、関わり、活性化に貢献する
- 将来、地域社会または組織のそれぞれの分野においてリーダー的存在になりうる人材の育成
- 社会に開かれた学園を創造し、地域の人々と学ぶ場を形成する

Ⅶ 加茂暁星ルネサンス計画（総論）

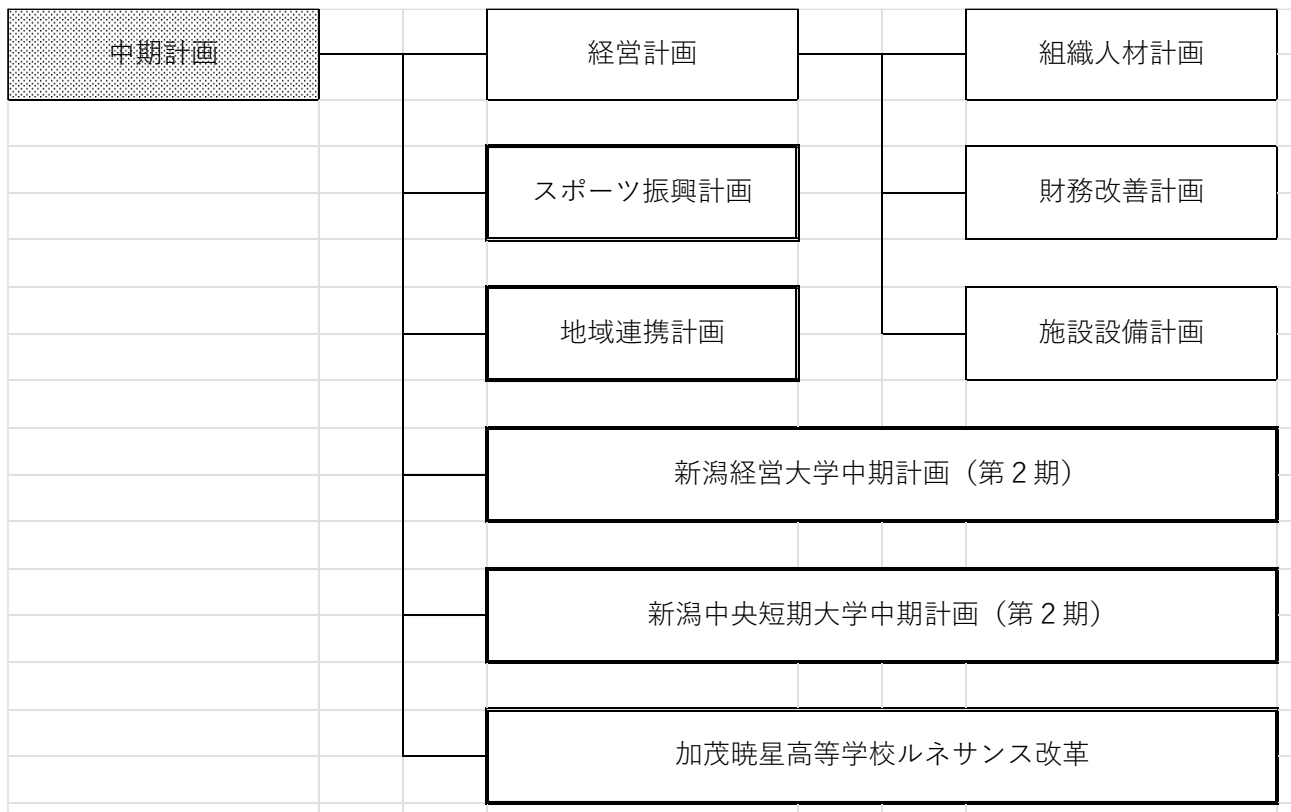
1 計画策定の趣旨

「新潟経営大学中期計画（第2期）」、「新潟中央短期大学中期計画（第2期）」、「加茂暁星高等学校ルネサンス改革」が、令和7年度を初年度として動きだすこととなる。更に、法人の「スポーツ振興計画」、「地域連携計画」を加えて、既存の「中期経営計画」と一体化した計画体系を構築する。

2 計画期間

令和7年度～令和11年度

3 計画全体の体系



V 加茂暁星ルネサンス計画（各論）

1 中期経営計画

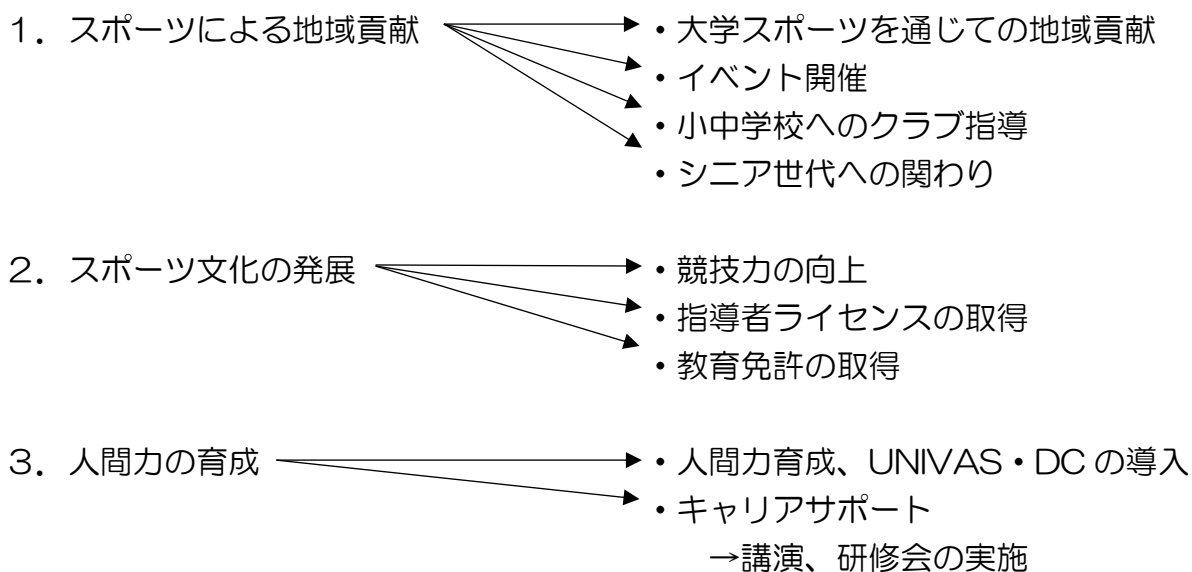
学園経営の目指す姿として、次の3点を計画目標とする。

- （1）加茂暁星学園の業務運営を持続可能な体制とするため、組織の総合力を強化するとともに、計画的に人材育成を図る。
- （2）収支バランスについては、黒字が恒常化するよう財務体質の強化を図る。
- （3）施設・設備については、処分、統廃合、新設、改築等のあらゆる手法を総合的に勘案して整備を進める。

2 スポーツ振興計画

加茂暁星学園は、スポーツ振興として、スポーツを通じた地域貢献とスポーツ文化の発展への貢献を掲げ、これを達成するために学生及び生徒の人間力を育成するものとする。

計画の目的達成に向け、3つの柱を設定する。



3 地域連携計画

<計画の目的>

加茂暁星学園は、業学一如の精神より、時代の変化に対応し「実践的教育」と「地域に根ざした研究・地域貢献活動」を通じ、「地域の発展に貢献する人材」を育成することを使命とし、地域の核として必要とされる教育機関を 目指し、地域の発展に必要な役割を果たしていくこととする。

計画の目的達成に向け、3つの柱を設定する。

- 1 地域に必要とされる人材の育成
- 2 地域と連携した教育・研究の質の向上
- 3 専門性を重視した教育活動による地域貢

4 新潟経営大学中期計画

教育目標

なりたい自分になれる大学

— 学生成長力 No.1 の大学をめざす —

○学生の個性と潜在能力を引き出し、学生がなりたい自分になれるための支援を行います。

【教育・研究における重点項目】

- 新たな情報化社会にたくましく生き抜く主体性と創造力のある学生を育成する
- 地域の課題を解決し、地域の活性化に資することを中心とする独創的な研究活動に取り組む

【地域貢献における重点項目】

- 地域に根差す大学の使命をもち、大学の知見を地域に還元すると共に地域の活性化のために実践する
- 産官学連携・高大連携等地域とのつながりを深め、新たな教育・新たな地域社会の創造へ挑戦する

5 新潟中央短期大学中期計画

教育目標

「子どものために 子どもと共に 学びつづける保育者」の育成

- 主体性を持ち、多様な人々と協働して生きていく態度・力を育てる
- ミュージカル、出前保育といった実践的学びの場を重視し、創造的な体験を通じて、主体性、協働性、問題を共に解決する力を養う。

こうした本学における学びを実践に生かし、さらに、実践からも学ぶ「子どものために 子どもと共に 学びつづける保育者」を育成する

【教育・研究における重点項目】

- 学生に寄り添い、学生を大切にする大学をめざし、教職員一体となった学生の育成体制の強化
- 学びを実践に生かし、実践から学ぶことを推進し、現場経験を持つ実務家教員の充実
- 保育現場に即した研究の推進

【地域貢献における重点項目】

- 保育・幼児教育に関する地域課題を研究し、解決策を地域に提言するとともに、その成果を学生教育に反映させ、課題解決に役立つ人材を育成する。

6 加茂暁星高等学校ルネサンス改革

＜教育目標＞

徳育・知育・体育において、仏教精神にもとづく人間形成、高校生としての基礎学力の修得、健やかな体力づくりを目指す。特に時代の急速な変化に伴う上級学校進学率の向上、情報化、国際化、高齢化時代の対応を踏まえて、必要な教育施設の充足及び幅広い教育課程を採用して、大学を併設する私学としての特色を発揮してゆく。

【教育・研究における重点項目】

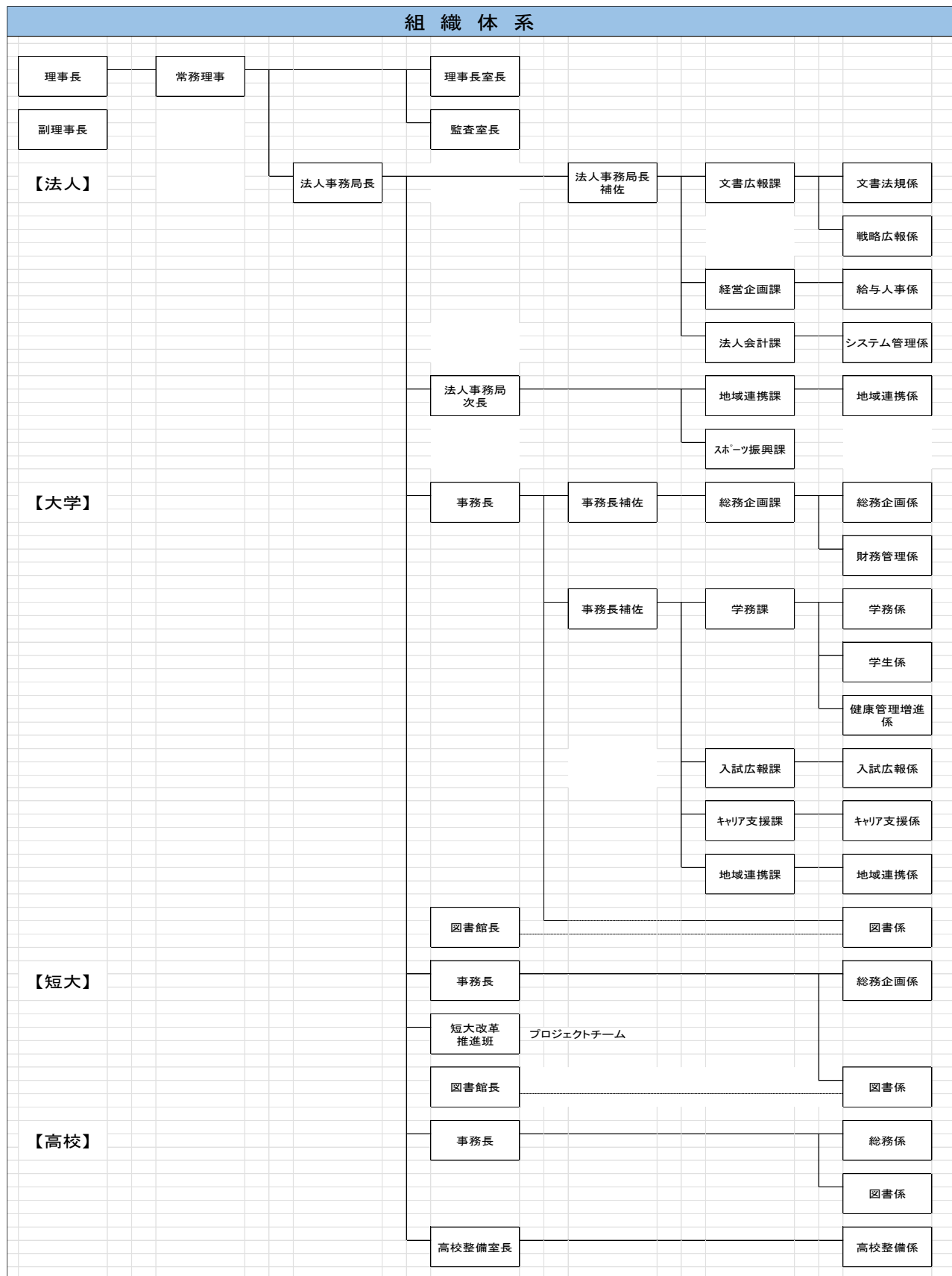
- 建学の精神のもと、社会に貢献し、活躍できる人材を育成する
- 社会人として評価される非認知能力身につけた人材を育成する

【地域貢献における重点項目】

- 加茂市と連携した地域活性化活動に取り組む
- 地域包括ケアを踏まえた地域連携による看護人材を育成する
- 部活動を通じた地域連携活動に取り組む
- 地域人材を活用した学習活動を進める

VII 学園組織の概要

1 組織図



2 分掌事務（法人本部）

理事長室

- 1 理事会、評議員会に係る業務に関する事。
- 2 理事長の渉外及び秘書事項に関する事。

監査室

- 1 外部監査人監査に関する事。
- 2 監事監査に関する事。
- 3 内部監査の実施に関する事。

法人事務局

文書広報課

- 1 公文書の収受、配布及び保管に関する事。
- 2 公印の管理及び取扱に関する事。
- 3 法人が運営する諸会議（理事会及び評議員会を除く。）に関する事。
- 4 法人に係る登記及び届出に関する事。
- 5 寄附行為その他諸規程の制定及び改廃に関する事。
- 6 私立学校法その他法令遵守に関する事。
- 7 学校、学部、学科の増設若しくは廃止又は定員等の調整に関する事。
- 8 法人の危機管理に関する事。
- 9 法人の情報公開等に関する事。
- 10 学園全体のイメージ向上戦略に関する事。
- 11 学園全体の統一的広報に関する事。
- 12 その他戦略広報に関する事。

経営企画課

- 1 法人の中期計画に関する事。
- 2 法人経営の改善及び企画に関する事。
- 3 法人の組織改正、給与人事制度及び業務改善に関する事。
- 4 教職員の研修に関する事。

法人会計課

- 1 法人の諸調査及び統計に関する事。
- 2 学校法人会計システムの運用に関する事
- 3 法人の予算及び決算の調整に関する事。
- 4 私学振興助成法に基づく助成制度に関する事。
- 5 その他法人の業務に関する事。

地域連携課

- 1 学園全体の地域連携の方針策定に関すること。
- 2 地方公共団体等との包括連携協定に関すること。
- 3 その他、地域連携に関すること。

スポーツ振興課

- 1 学園スポーツ振興の方針策定に関すること。
- 2 地域スポーツに関すること。
- 3 その他スポーツ振興に関すること

各学校の事務分掌は、「学校法人加茂暁星学園事務分掌規程」を参照してください。

IX 学園の諸規程（主なもの）

<学園>

- 1 寄附行為、内部統制システム整備の基本方針、理事会運営規程、評議員会運営規程
- 2 事務組織規程、文書管理規程、リスク管理基本規程、コンプライアンス基本規程
- 3 育児休業等に関する規程、介護休業等に関する規程、表彰規程、懲戒規則
- 4 教職員旅費規程、教職員の給与の特例に関する規程、自家用車校務使用要領
- 5 経理規程、固定資産及び物品管理規程、財務書類等閲覧規則

<各学校>

- 1 学則、就業規則、給与規程、奨学金規程（各学校）
- 2 教授会規程、各委員会規程、個人情報保護規程（大学、短大）
- 3 キャンパスハラスメント規程（大学、短大）

X 関連法令（主なもの）

- 1 学校教育法（日本の六・三・三・四制の学校制度の基準を定めた法律）
- 2 私立学校法（私立学校の健全な発達を図ることを目的として制定された法律）
- 3 私学振興助成法（私学に対する国の財政援助の基本的方向を明らかにした法律）
- 4 大学設置基準（大学の教育研究施設等の水準を審査するための基準）
- 5 短期大学設置基準（短期大学の教育研究施設等の水準を審査するための基準）
- 6 高等学校設置基準（高等学校の教育研究施設等の水準を審査するための基準）
- 7 学校法人会計基準（私立学校法で求められる計算書類を作成するための基準）

XI 基本統計

1 学部・学科等の入学定員、学生・生徒数の状況

(単位:人)

学科等	入学 定員	収容 定員	1年 生	2年 生	3年 生	4年 生	合計
新潟経営大学経営情報学部							
経営情報学科	120	510	98	109	119	73	399
スポーツマネジメント学科	50	210	68	62	74	47	251
新潟中央短期大学							
幼児教育学科	75	150	32	39	－	－	
加茂暁星高等学校							
普通科	160	480	137	167	107	－	411
看護科	40	160	33	38	29	－	100
看護専攻科		140	48	27	－	－	75

注) 令和7年5月1日現在。

2 収容定員充足率

学校名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
新潟経営大学	69.0%	70.9%	77.6%	84.2%	90.3%
新潟中央短期大学	78.0%	72.0%	87.4%	76.0%	47.3%
加茂暁星高等学校	64.9%	63.8%	56.0%	67.4%	75.1%

3 教職員の概要

(単位:人)

学校名	専任教員数	専任職員数	計
新潟経営大学	33	29	62
新潟中央短期大学	11	7	18
加茂暁星高等学校	36	7	43

注) 令和7年5月1日現在。



学校法人 加茂暁星学園

加茂暁星高等学校

Kamo Gyosei High School

〒959-1322 新潟県加茂市学校町 16 番 18 号

TEL. 0256-52-2000

FAX. 0256-52-2003



新潟中央短期大学

〒959-1321 新潟県加茂市希望ヶ丘 2909-2

TEL. 0256-52-2120

FAX. 0256-53-2444



新潟経営大学

〒959-1321 新潟県加茂市希望ヶ丘 2909-2

TEL : 0256-53-3000 (代)

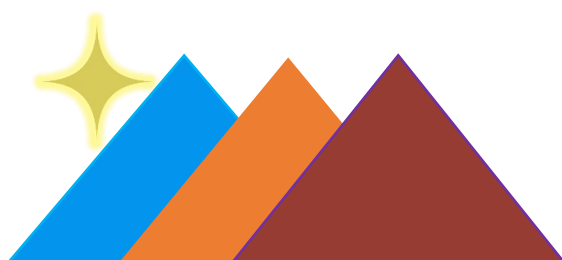
FAX : 0256-53-4544

<法人本部>

〒959-1321 新潟県加茂市希望ヶ丘 2909-2

TEL : 0256-52-4966 (代)

FAX : 0256-52-4970



Kamo Gyosei

100 年前の加茂朝学校に通った生徒も、夜明け前に粟ヶ岳の傍らに一際輝く
暁星を見ていたのかもしれません。